

# 第75期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

CAPITA 株式会社 **CAPITA**

# ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り誠に有難く心から厚く御礼申し上げます。

さて、当第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、コロナショックからの脱却に伴い、訪日外国人客数の増加により観光業、飲食業の景気回復があるものの、世界の不安定な情勢、各国それぞれの金融政策により、円安や資源価格等の高騰により物価の高騰、個人消費の低迷など経済活動は混沌となりました。

石油事業におきましては、世界的な経済不安定な状況が続いております。また、前年に比べ大幅な原油価格高騰も大きく影響を受けました。

このような状況の下、当社におきましては地域の皆様を中心としたライフラインの機能性が高い事業を営む企業として、「安全・安心」と「安定供給」を最優先し、経営資源の有効活用をテーマに環境に応じた運営方針により、業績の回復に努めてまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高は15億45百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は19百万円（前年同期比66.9%減）、経常利益は16百万円（前年同期比71.0%減）、四半期純利益は10百万円（前年同期比69.8%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

（石油事業）

石油事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の制限も緩和され需要の上昇の期待のされる中で、ロシア・ウクライナ問題における世界的な原油価格の高騰、また円安傾向の横ばいが変わらず続いており、石油価格は高水準の状況が続きました。

当社SS事業部に関しましては、環境が厳しく変わる中、引き続き販売数量と適正な口銭（マージン）確保を根幹に店舗運営時間及び運営形態の見直し、油外製品での利益拡大に引き続き努めております。

燃料油販売面では仕入れ価格の値上げが続く中、適正な収益確保に努めましたが、前年に比べ原油価格上昇による需要の停滞、燃料油の節約志向の上昇により、需要の改善を図ることができず販売数量が伸び悩む要因となりました。

しかし、油外販売面では集客施策の見直しによりコーティングや作業収益の改善を図っており、かねてより取り組んでいるウェブ集客に関しましては継続して洗車・コーティング・タイヤ関連作業等の顧客獲得が順調に成果を収め、これらの結果、油外製品販売は好調に推移しました。

また、2023年9月より当社で3店舗目となるニコニコレンタカーを巣鴨SSにてオープンし、今後のカーボンニュートラル社会に向けさらに燃料油収益に依存しない収益確保の仕組みづくりに取り組んでおります。

今後、当社レンタカー事業におきましては環境問題と顧客満足の双方の観点より、積極的に環境配慮型のエコカーの導入または入れ替えを図り、環境に配慮しながらもレンタカー事業の拡大に取り組んでまいります。

これらの結果、2023年第2四半期のSS事業部に関しましては前年同期と比べ、増収減益となりました。

石油商事事業部は、卸部門では引き続き新規顧客開拓を継続し、仕入れ先の見直しや営業コストの見直しに加え、売掛金リスクの削減や、原油価格の大幅な高騰による業績への影響を最小限に抑える為、小口配送やその他出荷形態などで、お客様の細かな要望に応える事に努め、改めて収益基盤の確立を行っております。

販売数量に関しましては、原油価格の大幅な高騰により回復傾向にあった数量も前年マイナスとなりました。口銭（マージン）に関しましては原油価格高騰による口銭の圧縮の影響はございましたが仕入れ先の調整等の効果もあり回復傾向になりました。また物販事業においては新型コロナウイルスの制限緩和により、メインであるゴムネットの需要増加により好調な推移となりました。

これらの結果、石油商事事業部は販売管理費を見直したものの、増収減益となりました。

石油事業全般におきましては、売上高11億27百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益34百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

#### （専門店事業）

専門店事業であるサイクルショップ「コギー」におきましては、運動不足の解消を目的とした健康志向の高まりや、日常生活における人との接触、いわゆる「密」を避けるための移動手段として通園、通学、通勤を中心に活用機会が増えたことなど、自転車の必要性が改めて認識されるところとなりました。

当事業年度の営業活動と致しましては、SNSやホームページのブログ、外部媒体を活用した情報発信を基軸に集客販促活動に努めると同時に、作業効率改善も含めスタッフの技術力、販売力向上に取り組み店舗利用価値の向上に努めました。また、依然として自転車本体の価格高騰が続く影響で新車需要より修理需要が高まりをみせており、作業料金部門で好調な推移をしております。また、今まで導入が僅かであった一般車の展開や中古自転車の活用にも着手し幅広いニーズに対応することで車体販売難の打開策としております。自転車本体だけでなく自転車用品の取り扱いも見直しを図りグループ店舗の規模を生かした仕入れ体制に着手しております。

その他の取り組みに関しましては、自転車の付加価値を高めるプレミアムコーティングの獲得に注力し、修理等作業料の確保として自転車販売のみならず、あらゆる収益源の更なる向上に努め増益を目指した体制作りをしております。2023年はコギー40周年の年であり、長年継続した信頼と実績を改めてお客様へ還元していく組織へと成長させていきます。

これらの結果、専門店事業部におきましては、売上高3億47百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益11百万円（前期は△0.9百万円の営業損失）となりました。

#### （不動産事業）

不動産事業におきましては、当社の巣鴨ダイヤビル・川口ダイヤピア共に、現在は満室状況であり、計画的な修繕を継続しつつ、ビルの資産価値の維持と入居者さまへの安全・安心の提供に努めております。

トランクルームの運営に関しましても堅調に推移している状況が続いております。

また今期は販売用不動産事業では、物件の売買が発生しなかったことにより、不動産事業部全体で、売上高70百万円（前年同期比75.2%減）、営業利益44百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、石油事業における適正マージンの確保や油外粗利の増強を目指し、専門店事業部につきましても引き続き顧客ニーズに合った販売戦略を継続してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役  
社長

安達哲也

# 中間貸借対照表

(2023年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,206,208</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>1,178,827</b>
現金及び預金	197,562	買掛金	71,537
受取手形及び売掛金	247,246	短期借入金	950,000
商 品	722,012	一年以内返済予定長期借入金	39,992
その他の流動資産	39,941	未払法人税等	4,368
貸倒引当金	△554	その他の流動負債	112,929
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,777,121</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>310,847</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>1,610,019</b>	長期預り保証金	84,861
建 物	142,172	再評価に係る繰延税金負債	195,448
土 地	1,437,495	その他の固定負債	30,537
その他の有形固定資産	30,351		
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>1,525</b>		
<b>投資その他の資産</b>	<b>165,576</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,489,675</b>
差入保証金	125,983	<b>純 資 産 の 部</b>	
その他投資	69,253	<b>株 主 資 本</b>	<b>1,124,253</b>
貸倒引当金	△29,660	資 本 金	90,000
		資 本 剰 余 金	276,439
		利 益 剰 余 金	846,612
		自 己 株 式	△88,798
		評価・換算差額等	369,401
		土地再評価差額金	369,401
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>1,493,655</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>2,983,330</b>	<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	<b>2,983,330</b>

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 中間損益計算書

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		1,545,585
売上原価		1,097,432
売上総利益		448,152
販売費及び一般管理費		428,747
営業利益		19,405
営業外収益		
受取利息	7	
受取配当金	133	
その他の営業外収益	443	584
営業外費用		
支払利息	3,371	
その他の営業外費用	130	3,501
経常利益		16,487
税引前中間純利益		16,487
法人税、住民税及び事業税	4,396	
法人税等調整額	1,754	6,150
中間純利益		10,336

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 中間株主資本等変動計算書

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金			利益剰余金
		資本準備金	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合計	そ の 他 利益剰余金 繰越利益 剰 余 金
2023年4月1日残高	90,000	24,790	251,649	276,439	843,484
中 間 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当					△7,207
中 間 純 利 益					10,336
中 間 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	3,128
2023年9月30日残高	90,000	24,790	251,649	276,439	846,612

	株 主 資 本		評価・換算 差 額 等	純資産 合 計
	自己株式	株主資本 合 計	土地再評価 差 額 金	
2023年4月1日残高	△88,798	1,121,124	369,401	1,490,526
中 間 期 変 動 額				
剰 余 金 の 配 当		△7,207		△7,207
中 間 純 利 益		10,336		10,336
中 間 期 変 動 額 合 計	—	3,128	—	3,128
2023年9月30日残高	△88,798	1,124,253	369,401	1,493,655

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概要 (2023年11月30日現在)

会社名 株式会社CAPITA  
本社所在地 〒150-0045  
東京都渋谷区神泉町9番1号  
Daiwa渋谷神泉ビル2階  
電話番号03 (6277) 5015  
資本金 90,000,000円  
発行済株式の総数 4,111,000株  
主要な事業内容 サービスステーション 7店  
サイクルショップ「コギー」 9店  
石油製品の卸および直販などの経営

## 取締役 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 安達 哲也

取締役 菊池 正俊

取締役 新島 裕一

取締役(監査等委員) 半田 邦彦

取締役(監査等委員) 浦 勝則

取締役(監査等委員) 三瀧 芳幸

## 店舗のご案内 (2023年11月30日現在)

### サービスステーション

東京都 巣鴨 SS

湯島 SS

佃大橋 SS

Dr.Drive日野万願寺SS

埼玉県 SS ヨンク和光

入間大井 SS

神奈川県 ヨンク菅馬場店

### COFFEY

東京都 アーバンドックららぽーと豊洲店

トリエ京王調布店

埼玉県 コーンシティさいたま新都心店

神奈川県 たまプラーザ店

金沢文庫店

ららぽーと横浜店

藤沢店

戸塚駅前店

川崎ルフロン店

## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金支払株主確定日	期末配当……………毎年3月31日 中間配当を行う場合は毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法によります。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031（通話料無料）
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（通話料無料） 郵送先〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### (お知らせ)

- ・株式に関するお手続きについて  
株式に関するお手続き（届出住所／姓名などの変更、配当金の振込方法／振込先の変更など）につきましては、お取り引きされている証券会社へお問い合わせください。
- ・特別口座について  
株券電子化の施行日（2009年1月5日）以前に証券保管振替機構を利用されていない株主様の所有株式は、特別口座で管理されております。  
特別口座で管理されている株式に関する各お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行の連絡先へお問い合わせください。